

特集

ユニークな場所で活動するクラブ

NPO法人 火の山スポーツクラブ ＜熊本県阿蘇市＞

日本体育協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」で掲げる総合型クラブの基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。安定的な運営のためには、地域で活用できる様々な施設や場所、空間を調査し、活動拠点以外の施設も利用できるよう関係機関・団体と話し合う取り組みが求められます。そこで今回は、ユニークな場所で活動を行っているクラブを紹介します。



1. ハードルを下げた活動しやすい環境整備が必要との観点からスタート
2. 震災後は神社や観光地の商店街道路を利用しトレーニングを実施
3. 空き家をクラブ事務所として借用→各種会議→運営スタッフと指導者の親睦の場に

1 クラブ概要

《クラブ設立の背景》

昨今、「健康ブーム」が取りざたされている中、誰でも気軽に参加できるスポーツ環境の整備、医療費の削減などに向けた動きに注目が集まっています。

この流れを受け、阿蘇市内でも行政や地域でもスポーツ環境の整備・人材育成に力を入れようとしているものの、実際には単発（短期）で終わってしまい、3町村合併により対応領域も広いことから、明確なスポーツ（運動）スタイルの確立が存在していませんでした。

地域では、『スポーツ（運動）をしたい。しないと不健康になる』との思いをよく耳にしますが、活動するまでのプロセスで二の足を踏む方も少なくありません。体育施設の予約や一緒に活動する人への連絡、既存組織への申し込みなど、意外と多くのステップがあるがゆえに体を動かすまでに至らないという実情があったようです。

このような状況をなくすため、ハードルを下げた活動しやすい環境整備が必要不可欠であるという確固たる認識から、阿蘇市での総合型地域スポーツクラブの立ち上げが進められ、「火の山スポーツクラブ」が設立されました。

《設立時のキーパーソン》

スポーツ推進委員(当時は体育指導委員)有志と阿蘇市教育委員会が主導してクラブが設立されました。

《クラブ理念》

阿蘇市民又その周辺住民に対して、主にスポーツ活動に関する事業を行い、自発的なスポーツ活動を通じ、生涯にわたって誰もが、誰とでも、それぞれの体力、年齢、興味や目的に応じて、いろんなレベルのスポーツを楽しみ、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりと、生涯を通じた健康づくりを楽しみ、ひいては阿蘇市民又その周辺住民の健康増進を目的とする。

自主事業の安定化(自主自立)、住民ニーズへの対応、運営フットワークのスピーディー化などを目標に掲げ活動しています。

《現在までの経緯》

H19.7.3	設立準備委員会
H20.2.24	クラブ設立(設立総会)
H24.10.11	法人格取得
H29	現在に至る

《現在の活動状況》

13種目	事務局1名(公認アシスタントマネージャー資格取得済)
年会費	2,000円~6,000円(※年齢による ※入会時期により差異あり)
入会金	600円(継続会員は0円)
会員	新規会員34% 更新会員66% 男性会員51% 女性会員49% 未就学児~高校生会員26% 19歳~40代25% 50~60代39% 70代以上10%
自主事業	行政等イベント委託(大阿蘇元気ウオークほか)、自動販売機設置、体験教室の実施
財源	年会費、入会金、自主事業、協賛金

2

ユニークな場所で活動するまでの経緯・取り組みの内容等

【地震の影響によりスポーツ施設を使用できない環境から生まれた活動】

平成28年4月に発生した熊本地震の影響により、阿蘇市は甚大な被害を受け、体育館や各種グラウンドなどのスポーツ施設が使用できない状況となりました。クラブプログラムとして実施していた「ソフトテニス」も、テニスコートが使用できない状況となりました。

そこで、ソフトテニスの指導者で行政担当者でもある窪田氏が阿蘇神社付近の商店街前の道路や常時人が集まる神社を使ってトレーニング(ロードワーク、筋トレ等)をすることを企画し、夏ごろから11月まで実施。使用した道路は観光地にあり平日の夕方以降は、ほとんど車が通らないことがわかっていたことから、この場所を使用することにしました。人目につく場所で実施したことにより、商店街の数店舗の店主らが首にタオルをかけてロードワークに飛び入り参加してくるなど、クラブの存在をアピールすることができました。

また、クラブ員有志が避難所となっている体育館を巡回し、被災者に体操を促すなどのボランティア活動も実施しました。

【クラブハウス＝民家】

現在、火の山スポーツクラブは、松本クラブマネジャーの住居兼クラブ事務所として、空き家だった築60年の一軒家を借用しています。

毎月開催している運営委員会や、3、4か月毎に開催している指導者会議の会場としても利用しており、運営スタッフと指導者の親睦を深めるため懇親会も開催しています。

この懇親会については他の総合型地域スポーツクラブ関係者やスポーツ関係者もwelcomeとしており、直近では全国スポーツクラブ会議後に視察に来られた県外の総合型地域スポーツクラブ関係者(北海道、福島、群馬)の方とも親睦を深めることができました。

3

ユニークな場所を使用したことによるクラブや活動地域への効果・影響、現在の状況

日頃であれば、体育館やグラウンドに出向いた人にしか目に触れないクラブの活動ですが、道路や空スペース、神社石段でのトレーニング(ロードワーク)を行ったことで地域の商店街の人などの目に触れ、クラブの活動を知っていただくきっかけにもなりました。商店主のクラブ加入促進や協賛店に取り込むことには至っていませんが、通常のクラブ活動場所に復帰すると、神社でのトレーニングに参加した商店主たちが子どもをクラブに加入させるという効果が生まれ、会員数の増加につながりました。

また、会場(施設)がなくても「何かできる」という意識がクラブの中でも高まりました。地震からの復興が進みスポーツ施設が少しずつ元に戻りつつある中、「新たに何ができるのか、スポーツ以外のイベントにつなげられないか」といった意識も生まれています。

4 今後の課題・展望

クラブの存在自体がまだまだ認識されていないのが現状です。市の人口に対する住民のクラブ加入率の数値目標を今一度再設定し、周知活動や会員獲得へ向けて具体的な案を出し合って動くことが必要と考えています。

アドバイザーという立場から見ると、クラブの運営スタッフ、指導スタッフともに充実している状況で、研修会にも必ずといっていいほど火の山スポーツクラブからは参加者が複数人いることなどから、高い向上心も伺えます。今後は、その高い経験値や見識を現場でアウトプットし、更に具体的な動きに結び付けていくことを期待しています。

また、クラブの課題として、各教室(プログラム)の質の向上が挙げられます。教室があって、指導者があってのクラブです。その各教室自体が総合的にレベルアップを図っていくことが、クラブの全体の発展につながると思います。

「クラブの質」について、“誰でも入れる雰囲気づくり、活動環境、心身のケア、参加費設定、用具の充実、指導者の資格レベル、指導者のコミュニケーション能力”など挙げられますが、現状に満足することなく常に気持ちと情報をアップデートしていくことにより、良いクラブ組織になると考えます。

クラブ設立当時の行政担当で、現在経済部まちづくり課の窪田氏は、「インプット(勉強)・アウトプット(得たものを出す)・アップデート(更新)を『日常的に』心掛け、実践していくことで我々のクラブ、ひいては全国のクラブが成長していくのではないかと語っています。

そして、先頭に立ってクラブを誘導していくのが事務局(クラブマネジャー)であると思います。事務局が年齢や社会的立場上やりにくさを感じるなどがないよう、周りのスタッフがより『やりやすい環境』の整備をすることが、クラブにとって最優先・最重要だと考えます。

阿蘇市は、平成28年4月に発生した熊本地震に加え、水害や火山の噴火など、様々な自然災害に見舞われてきましたが、その度にこの火の山スポーツクラブが地域のために動き、行政との絆も深めてきました。今後も活躍の期待が高まる一押しクラブの一つです。

(熊本県クラブアドバイザー 太田黒 尚子)

クラブプロフィール

設立年月日 平成20年2月24日

所在地 熊本県阿蘇市

運営 会員数263名(平成29年3月31日現在)、予算規模約500万円(平成29年度)

有給職員 1名

特徴 阿蘇市の人口は約27,000人、熊本県東北部、熊本市から約50kmの九州山地内に位置し、旧・一の宮町区域の大部分は阿蘇山が形成したカルデラ盆地の中に含まれている。人気プログラムである「ウォーキング」や「HIP-HOPダンス」等の他に、阿蘇市の環境ならではの「乗馬」や「ゴルフ」などのプログラムもある。阿蘇市主催のウォーキングイベント「大阿蘇元気ウォーク」では諸準備・運営に係る委託、さらに阿蘇市社会福祉協議会から高齢者運動指導の委託を受ける等、行政との連携体制も構築している。熊本地震発生直後においても、各避難所にて運動指導をするなど、地域課題解決のため積極的に活動している。

連絡先 〒869-2301 阿蘇市内牧2052-2
電話番号 0967-32-1441 FAX 0967-32-1441
E-Mail hinoyamasc@yahoo.co.jp
URL <http://hsc.moo.jp/>

通常：ソフトテニス



ロードワーク



ロードワーク



クラブハウス兼クラブマネジャー宅

